

SNSによるオンライン授業による学習意欲と 満足度の調査

大阪産業大学 デザイン工学部 情報システム学科
情報教育システム研究室

18H023 尾崎 雅樹

SNS によるオンライン授業による学習意欲と満足度の調査

18H023 尾崎 雅樹

1 はじめに

2020 年度から、新型コロナウイルスによりオンライン授業が増えた。無作為に抽出した学生約 3,000 名のうち、有効回答者、1,744 名に回答してもらい約 80 % がほとんどオンライン授業だった。[?] そのうち、オンライン授業の満足度は、「満足」及び「ある程度満足」の合計が 37.9 %、「あまり満足していない」及び「満足していない」の合計が 24.6 % という結果。大阪産業大学では、オンライン授業と対面授業を、レベルと授業タイプで分けており、レベルが高くなるにつれて、オンライン授業になる。大学側が判断したレベルは正しく学生側に正しく伝わっているか。また、オンライン授業について学生が不満や意見などを SNS(主に Twitter) で自発的に発言している投稿を集めて分析し調査を行った。

2 目的

本研究の目的は、新型コロナウイルスの影響によりオンライン授業が多くなったことにより、学生の学習意欲の変化や各授業に対する満足度の調査を学生が自発的に発信している、Twitter を主に使い、投稿による学習意欲や授業の満足度を分析し調査を行った。アンケートによると [?], 約 80% はオンライン授業となっており、その中で授業形態、大学側の判断、私生活への影響などを Twitter を利用し調査を行った。

3 検証結果

集計した、ツイート数は約 440 個となった。割合は授業についてが約 70%、授業形態についてが約 15%、テストについてが約 8%、行事が約 5% となった。授業についてのツイートが主に占めていた。内容としては前期はオンライン授業に対する不満、理解できていないことを質問していることが多い傾向だった。後期は、ハイブリッド授業となり、対面授業も増えていったため授業に関する質問は少なくなったが、オンライ

ン授業に慣れた人が多く対面授業を嫌がる学生もいた。試験期間の時には同じ授業受けている学生に理解できていない所を Twitter を利用し、聞いている学生が多い傾向だった。授業形態については、大学側が判断した、授業形態レベルの変更時に着目し集計を行った。結果としては、後期でのハイブリッド授業になったタイミングが学生は困惑していることが多く感じた。授業によっては、その授業のグループによって対面授業かオンライン授業に分けていたが、特に理解できていない学生は多くみられた。入学式の時、ハッシュタグ機能を使い人脈作りを行っていた。

4 まとめ

本研究では、Twitter を利用し学生の学習意欲、授業に対する満足度や大学側の判断は正しく伝わっているか調査を行った。授業への満足度は、前期だと学生がオンライン授業に慣れていなく、参加できない、受け方がわからない、他の学生のマイクがミュートになっていないなどオンライン授業ならではの、トラブルが前期の序盤に多い傾向だった。それ以降は、課題が多いや、授業への不満が多くなっていった。後期ではハイブリッド授業になったため、対面授業が始まったがオンライン授業に慣れたため、対面授業を嫌がる学生いた。オンライン授業と対面授業でやるかをグループ分けされている授業では、理解できていない学生が多い傾向だった。大学側の判断では、授業形態のレベルの変更時があまり学生には伝わっていない印象だった。

参考文献

- [1] 文部科学省：「新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の学生生活に関する調査の結果」
https://www.mext.go.jp/content/20210526-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf

目次

1	はじめに	1
2	目的	2
3	オンライン授業	3
3.1	オンライン授業の割合	3
3.2	オンライン授業に関する調査	3
3.3	オンライン授業の種類	4
3.4	オンライン授業のメリット・デメリット	4
4	検証	7
4.1	検証方法	7
4.2	検証期間	7
5	Twitter	8
5.1	Twitter とは	8
5.2	大学生の Twitter 利用率	8
5.3	Twitter のリスト機能	8
6	結果	12
6.1	入学式	12
6.2	授業	12
6.3	テスト	13
6.4	授業形態	14
7	まとめ	18
8	謝辞	19

1 はじめに

2020年度から、新型コロナウイルスによりオンライン授業が増えた。文部科学省によるアンケート [1] では、無作為に抽出した学生約 3,000 名のうち、有効回答者、1,744 名に回答してもらい約 80% がほとんどオンライン授業だった。そのうち、オンライン授業の満足度は、「満足」及び「ある程度満足」の合計が 37.9%、「あまり満足していない」及び「満足していない」の合計が 24.6% という結果である。大阪産業大学では、オンライン授業と対面授業を、レベルと授業タイプで分けており [2] レベルが高くなるにつれて、オンライン授業になる。大学側が判断したレベルは正しく学生側に正しく伝わっているか、また、オンライン授業について学生が不満や意見などを SNS(主に Twitter) で自発的に発言している投稿を集めて分析し調査を行った。

2 目的

本研究の目的は、学生が自発的に発信している Twitter への投稿を用い、コロナ化でのオンライン授業における、学習意欲や授業の満足度を分析・調査することである。文部科学省のアンケートによると [1]、約 80% はオンライン授業となっておりその中で授業形態、大学側の判断、私生活への影響などを Twitter を利用し調査を行った。

3 オンライン授業

3.1 オンライン授業の割合

文部科学省によるアンケート [1] によると、有効回答者 1,744 名に回答してもらい約 80% がほとんどオンライン授業を受けている。以前実施された、文部科学省による令和 2 年度後期授業の実施方針における調査では、「ほとんど遠隔」と回答した大学等は約 15 % だった。新型コロナウイルス拡大に伴う影響により、大学側はオンライン授業を強いられている。

(1) オンライン授業の割合 (令和2年度後期) ※択一選択

以前実施した、令和 2 年度後期授業の実施方針における調査では、「ほとんど遠隔」と回答した大学等は約 15% であったが、学生の履修した科目から見ると、ほとんどオンラインだった学生は 6 割にのぼった。

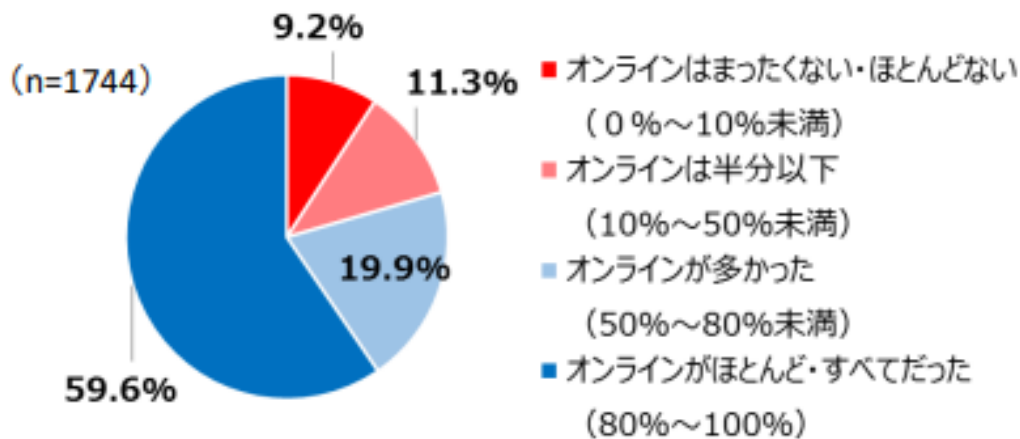


図 1 文部科学省「新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の学生生活に関する調査の結果」によるオンライン授業の割合 (令和 2 年度後期) [1] によると、9.2% はオンラインはまったくなく、11.3% はオンラインは半分以下、19.9% はオンラインが多い、59.6% はオンラインがほとんど、すべてだった。約 6 割はほとんどオンライン授業だった。

3.2 オンライン授業に関する調査

早稲田大学オンライン授業に関する調査結果 (2020 年度春学期) [3] によると、学生の 92.2% が「有益なオンライン授業」があったと回答した。オンライン授業の良い点として、自分のペースで学習できる点や、復習に組みやすい点があげられた。オンライン授業の改善点として、課題が多い点、身体的な疲れをより感じる点、孤立感を感じる点があげられた。

学生にとって最も有益であった授業と、満足いかなかった (不満のある) 授業それぞれの授業方法について尋ねたところ、満足いかなかった (不満のある) 授業それぞれの授業方法について尋ねたところ、図 1 のような傾向が示されました。最も有益な授業では、「小テストやレポートなどの中間課題がある」、「課題に対するフィードバックがある」、「授業内容や授業の進め方に学生の意見が反映される」といった項目で肯定的な回答が多くみられました。一方、不満のある授業について、「小テストやレポートなどの中間課題がある」では肯定的な回答はあるものの、「課題に対するフィードバックがある」や「授業内容や授業の進め方に学生の意見が反映される」といった項

オンライン授業の良い点		オンライン授業の改善点	
自宅で学習できる	76.4%	課題が多い	63.0%
自分のペースで学習できる	70.3%	目や耳、肩など身体的な疲れをより感じる	61.8%
通学時間を学習に有効活用できる	57.0%	友達と一緒に学べず孤立感を感じる	58.1%
復習が何度でもできる	48.4%	課題提出ができていないのか不安だった	52.9%

図2 オンライン授業の良かった点と改善点

目の肯定的な回答が、最も有益な授業と比べ少ない傾向

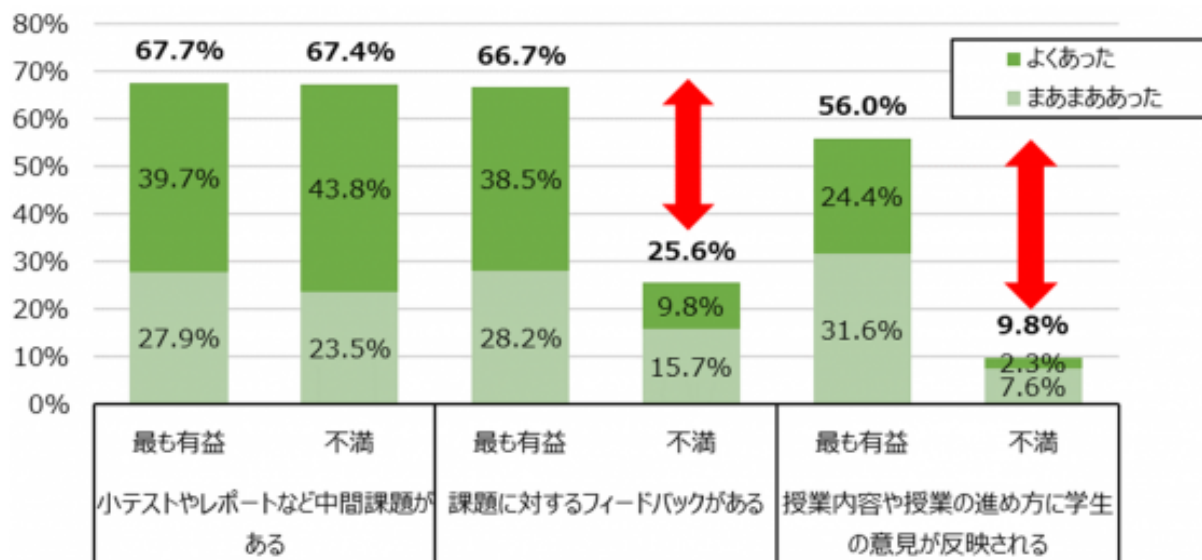


図3 最も有益な授業と不満な授業の授業方法の比較

3.3 オンライン授業の種類

デジタル・ナレッジ [4] によると、オンライン授業の授業形態は主に二つに分かれておりライブ配信とオンデマンド配信に分かれている。ライブ配信は遠く離れた学習者にも教室と同様の臨場感あふれる授業をオンラインで届けること（オンライン教育の実施）ができる。学習者は授業が配信されている同時刻にパソコン・スマートフォン・タブレット・大型モニタ等のデバイスを使用してインターネットにアクセスし、ライブで視聴ができる受講形態である。オンデマンド配信は予め収録した授業の教材を、学習者が好きな時間に好きな場所で、パソコンやスマホなどのデバイスを使ってインターネットにアクセスし、何度でも視聴することが可能な受講形態である。

3.4 オンライン授業のメリット・デメリット

ここでは、教える側と学ぶ側とライブ配信とオンデマンド配信に分けて、メリットとデメリットを取り上げている。

学者者のメリット（ライブ配信）[4]

- 会場に向かなくても臨場感ある授業が受けられる

- 質問をする、発表をするなど学習者側からのアクションが可能
- ディスカッションなど複数の学習者で学び合うことも可能
- 病気やケガ、そのほか様々な事情を持つ学習者も授業を受けられる
- 教科書では伝わりにくい動作を伴う事柄や、専門家からの直接指導など品の高い授業が可能
- (ウイルスの蔓延など) 非常事態の環境下で学ぶ場所がなくてもオンラインで授業を受けられる
- 自学習ではつい後回しにしてしまうことがあるが、時間が決まっているライブ配信は学習のモチベーション向上が期待できる

学者者のデメリット（ライブ配信）[4]

- 授業の時間が決まっているのでそれに合わせて視聴する必要がある
- インターネット環境とパソコン・スマホなどのデバイスが必要
- 体験学習や実技がともなう授業には不向き

学者者のメリット（オンデマンド配信）[4]

- 自宅や外出先など好きな場所で学習できる
- 理解度に応じ、自分のペースで学習できる
- 苦手箇所を繰り返し視聴するなど理解をさらに深めることができる
- 教科書では伝わりにくい動作を伴う事柄や、専門家からの直接指導など品の高い授業が可能
- (ウイルスの蔓延など) 非常事態の環境下で学ぶ場所がなくてもオンラインで授業を受けられる
- 学習履歴や学習進捗が可視化されてわかりやすい

学者者のデメリット（オンデマンド配信）[4]

- わからないところがあってもその場で質問ができない
- インターネット環境とパソコン・スマホなどのデバイスが必要
- 学習者間の交流が図りにくい
- インターネット環境とパソコン・スマホなどの端末が必要
- 強制力がないので自主的に学習する意欲が求められる

教育側（学校・塾）のメリット（ライブ配信）[4]

- リアルな対面授業に準じた教育を提供できる
- 会場に来ることができない学習者にも広く学びを提供できる
- 授業品質の均一化を図れる
- 双方向授業^{*1}が実現できる
- 教科書では伝わりにくい動作を伴う事柄や、専門家からの直接指導など品の高い授業が可能
- 教室運営費を削減できる
- (ウイルスの蔓延など) 非常事態の環境下で学ぶ場所がなくてもオンラインで授業を受けられる

教育側（学校・塾）のデメリット（ライブ配信）[4]

- ライブ配信のためのシステムが必要となる

^{*1} 教師と生徒の両方がリアルタイムでやり取りをしながら授業を行う形式のこと

- Web 会議システムを利用したライブ授業の場合、学習履歴などを取得することができず、系統立てた教育プログラムの提供がむずかしい
- ライブならではの授業の進め方や講師のスキルが求められる

教育側（学校・塾）のメリット（オンデマンド配信）[4]

- 動画教材の修正、アップデートが常時可能
- 最新の動画を全学習者に一斉配信できる
- 授業品質の均一化を図れる
- すべての学習者の学習履歴を一括管理できる
- 学習者一人ひとりに最適な教材を提供できる
- 導入以降のコストを削減できる
- 教科書では伝わりにくい動作を伴う事柄や、専門家からの直接指導など品の高い授業が可能
- 教室運営費を削減できる
- （ウイルスの蔓延など）非常事態の環境下で教育の場がなくてもオンラインで授業を配信できる・学習者の視聴履歴を解析することで、繰り返し再生されている箇所や、よく離脱する箇所を確認し改善することができる。

教育側（学校・塾）のデメリット（オンデマンド配信）[4]

- 動画教材を作成する手間やコストがかかる
- 教材配信や学習管理のためのシステム（LMS）が必要となる

4 検証

4.1 検証方法

Twitter を用い、ハッシュタグ#春から大産大#春から大産#春から産大#春から大阪産業大学を用いて、大阪産業大学生であろう人をリストという機能を使い集め 1 日 1 回以上リストにいれた人のツイート（投稿）を確認を行い、1 回生から 2 回生（主に 1 回生）を対象に自発的な発言を集めて分析を行った。

4.2 検証期間

4 月から 11 月までの期間で行った。長期的に行うことで学生の授業に対する姿勢や大学側が伝えたいことが伝わっているかなど様々な目線から分析するためにこの期間とした。ただし、夏休み期間（8/4 から 9/20）は除く。

5 Twitter

5.1 Twitter とは

Twitter とは、「ツイート」と呼ばれる“140文字の文章”を投稿・拡散し、世界中のユーザーとつながることのできる SNS（ソーシャルネットワークサービス）Twitter の大きな特徴は、世の中の情報やトレンドが“リアルタイム”で見れること。最新のニュースや芸能スキャンダル、流行っているアイテム、災害・事件などまで、さまざまな情報が各々のツイートとしてリアルタイムで投稿されます。このような情報伝達の速さや匿名性の高さが人気となって、“好きなことを気軽に投稿できる”という独自の特徴を持っているのが、Twitter の大きな魅力。Twitter の国内アクティブユーザー数は 4500 万アカウントを超え、その数は国内 SNS の中でも 2 番目に多いユーザー数であり、日本人にとっても“身近な SNS の 1 つ”といえる。[5]

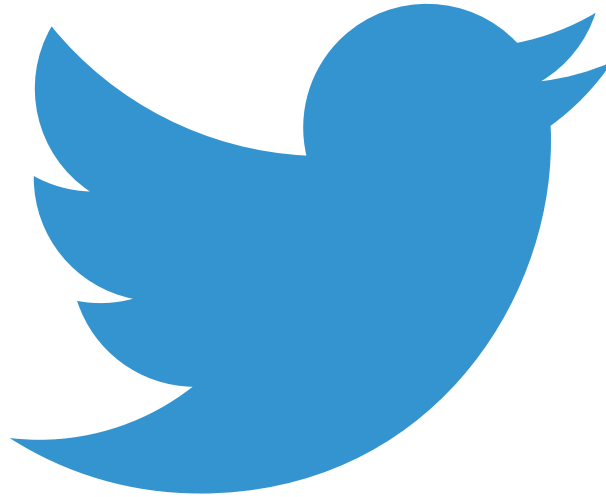


図 4 Twitter の公式 logo

5.2 大学生の Twitter 利用率

総務省「令和元年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書概要」より [6] トレンドに敏感な 20 代～40 代の利用が多くなっている。思いついたらすぐつぶやける 140 文字の短文投稿という手軽さから 20～40 代以外の年代からも利用されている。年代別に見ると、20 代が最も多く 69.7 % の人が利用している。2 番目に多いのが 10 代で 69.0 %、次いで 30 代の 47.8 %、最も利用率が低いのは 9.3 % で 60 代となっている。Twitter はトレンド性も重要なため、トレンドに敏感な若年層の利用率が高くなる傾向。

5.3 Twitter のリスト機能

リストを使用することで、タイムラインに表示するツイートをカスタマイズ、整理、優先順位付けできる。Twitter で他のユーザーが作成したリストに参加したり、自分のアカウントから、グループ、トピック、または興味関心の対象別に、他のアカウントのリストを作成したりできる。リストタイムラインには、リストに登録されたアカウントのツイートのみが表示される。また、お気に入りのリストを自分のホームタイムラインの上部に固定

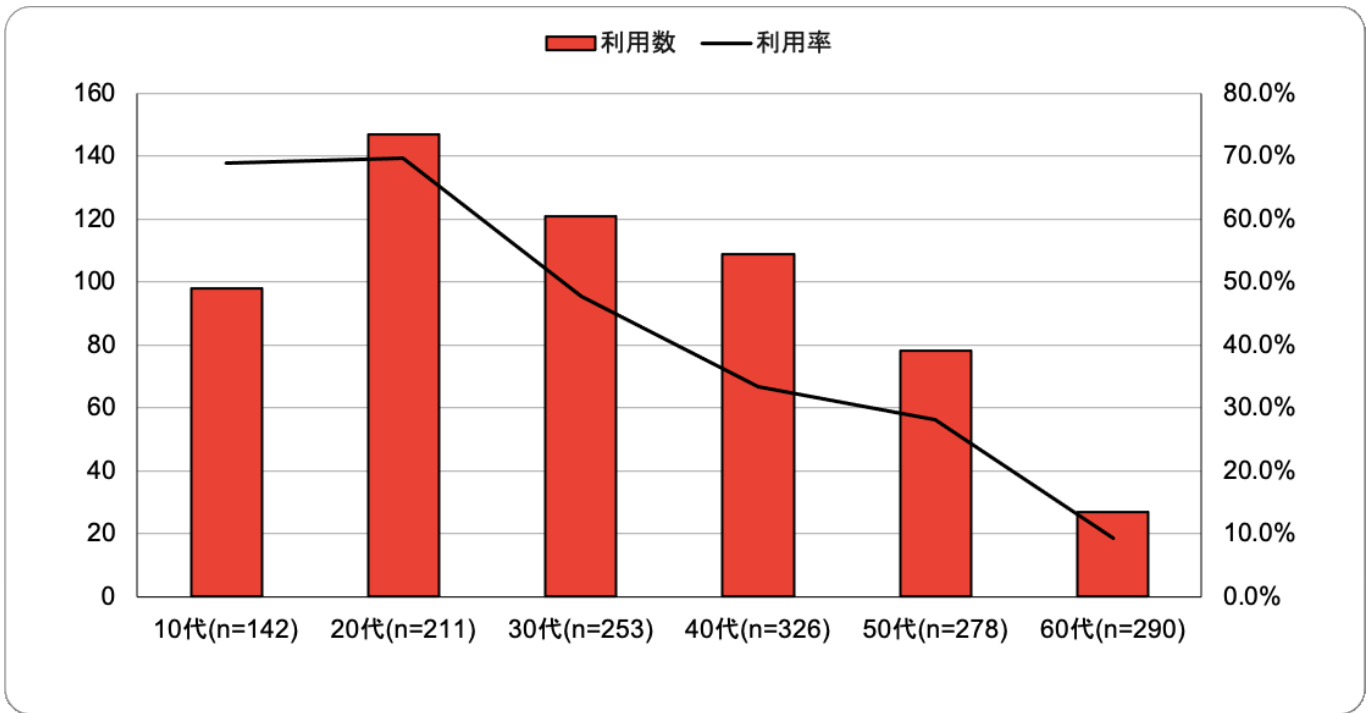


図5 Twitterの利用率(総務省「令和元年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書概要」より)[6]

すれば、重要なアカウントからのツイートを見逃すことがなくなる。



applio

applioに関するアカウントを追加するリスト

 アプリオ花子 @applio_hanako

3人のメンバー 1人のフォロワー

リストを編集



アプリオ五郎  @applio_goro · 2021/01/14 ...

こちらの記事が役に立ったので、ぜひ参考にしてください！

[#applio](#)



Twitterで「固定ツイート」を設定・解除する方法——できないケースやPCでの…
[applio.com](#)



アプリオ花子 @applio_ha... · 2021/01/14 ...


旅行に行ってきました！ 



図6 作成したリスト [8]



図 7 通常のタイムラインとリストのタイムラインは分けて表示 [8]

6 結果

集めたツイート数は約 430 個となり、その中からツイート内容によって分類を行った。割合は図 6 に示す。割合としては、70% は授業、15% は授業形態、8% はテスト、5% は行事、2% はその他となった。授業内容や授業形態やテスト、学校行事、大学が「レベル」の変更時など様々なタイミングでツイートの違いが見られた。

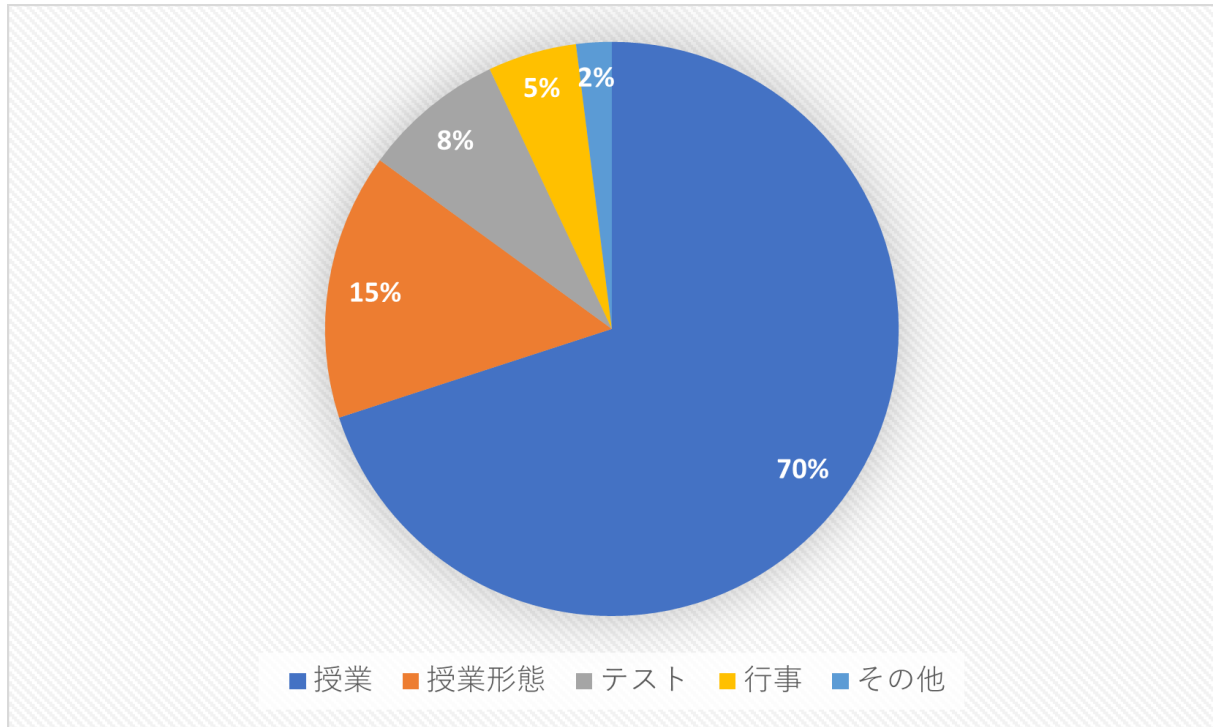


図 8 集計したツイートの割合 (70% は授業、15% は授業形態、8% はテスト、5% は行事、2% はその他)

6.1 入学式

3 月から 4 月で、多かったのが新入生をハッシュタグを使い探し、フォロー [7]^{*2}や DM [7]^{*3}を行うことにより親睦を深め大学に入る前から友達がいる状態を作っている人がある。また、学部を記載している人が多く、同じ学部の人とつながることで、授業や学部のことで聞いて親睦を深めていた。しかし、前期がオンライン授業だったため Twitter だけの親睦で終わり大学では実際に会えないことがあった。

6.2 授業

授業については、観測開始時から非常に多くツイートされていることがあった。集計したうちの 7 割あり、約 300 ツイートされた。期間は、前期と後期の授業期間で多くツイートが行われていた。内容について、いくつか紹介する

^{*2} そのアカウントのツイートが配信されるようになり、そのアカウントで何らかの更新があると、あなたのホームタイムラインに表示され、そのアカウントはあなたにダイレクトメッセージを送信できる。

^{*3} ダイレクトメッセージを使うと、ツイートなどのコンテンツについて、他の人と非公開の会話ができる

表1 検索に用いたハッシュタグ

ハッシュタグ一覧
#春から大産大
#春から大産
#春から産大
#春から大阪産業大学
#春から osu
#大産大
#osu

オンライン授業

表2のツイートは前期の序盤が非常に多くみられた。その後はオンライン授業に慣れ少なくなっていたと思われる。特に1回生ではハッシュタグを用い、同じ大阪産業大学の学生に聞いていることがあった。その中で、質問に対する回答者が多かったのが、大阪産業大学のサークルや部活や委員会などのアカウントが新入生に対しオンライン授業の受け方や大学からの情報を発信していることもあった。

表2 オンライン授業に関するツイート

ツイート
自分のペースでできるのが楽でいい。
通学時間がないのがいい。
オンデマンド配信があるからレポートでわからないところがすぐわかる
先生がなにゆっているかわからない
ミュートにするのを忘れていた大学生の生活音などが聞こえる。
参加できない。ログインできない。
オンライン授業が初めてで受け方がわからない
チャットで質問しても、気づかれない。
オンライン授業により、生活リズムが崩れた。
学校に全然行かないため、友達ができない
対面の時より、課題が増えしんどい。
対面よりオンライン授業のが自分のペースでやりやすいから戻らなくていい。

6.3 テスト

試験期間になると、前期ではオンラインで試験が行われるか、最終レポートを提出するかの2つが多かったため試験前になると、同じ授業を受けている学生をハッシュタグを使い探していることが多くみられた。同じ授業を受けている学生を見つけると、その授業の資料やレポートの答えやヒントを教えていた。後期になると、対面で試験だったがそれでも前期のようにハッシュタグを使い Twitter を利用している学生がいたが、前期に比べると少ない。試験期間が終わると、単位を落としたかもしれないというネガティブなツイートが非常に多くあった。

後期授業期間の授業形態に関する方針についての補足説明の連絡がありました。

また、【ハイブリッド授業をオンラインで受講するための環境整備について】や【対面参加を可とする学生の条件】についても挙げられています。ご確認ください。

#大阪産業大学 #osu

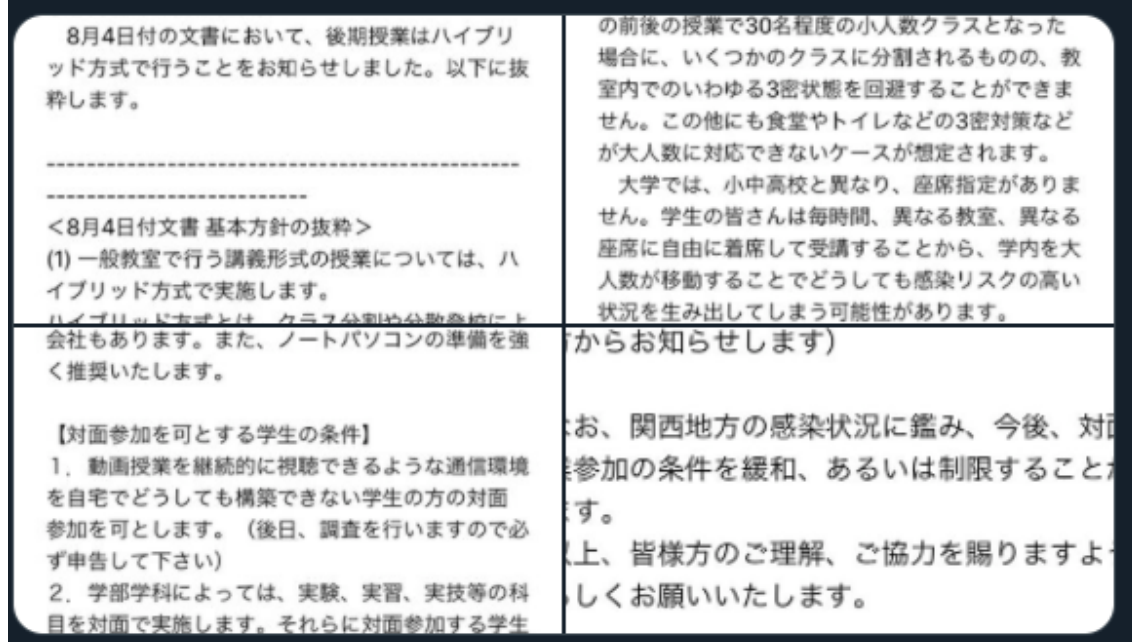


図9 大学からのお知らせを発信しているツイート

6.4 授業形態

前期は実習・演習を除く、授業はオンライン授業となった。後期はハイブリッド授業^{*4}を行っていた。大阪産業大学が決めたレベルが変わった時は以下ようになる。

前期は、基本的にオンライン授業だったためあまり困惑はしていなかった。前期の序盤は、前にも述べたようにオンライン授業についての質問が多々あった。

後期は、ハイブリッド授業により、対面授業なのかオンライン授業かで困惑している傾向があった。レベルのこともあまり理解していない学生が多く見られ対面かオンライン授業なのを他の学生に聞いていることがよくあった。その後も、図9の示してるように、大学からの情報を発信しているアカウントより、レベル変更時には随時更新さ

^{*4} ハイブリッド方式とは、クラス分割や分散登校によって教室での密集防止を図ったうえで、対面式の授業を行うとともに、授業内容のリアルタイム配信を行い、さらにオンデマンド配信を行うことで、オンラインでの受講者にも対面式と同等の授業内容を提供するものです。感染状況の変化に応じて速やかに登校対象学生の割合を変更し、場合によっては希望者のみを対象とすることも想定していません。[2]

表 3 授業レベルの変更期間

変更時の日付	授業レベル
4/14	レベル 3
7/1	レベル 2b
8/2	レベル 3
10/4	レベル 2b
10/12	レベル 2a
11/22	レベル 1

れていたもので学生にはうまく伝わっていたと感じた。

大阪産業大学の授業の運用について

9月30日（木）までは「レベル3」が継続する予定になってます。
後期の授業も9月21日（火）より開始します。外出の際は感染対策を徹底しましょう！👏

レベル毎の授業対応については下のURLからご確認ください！

[osaka-sandai.ac.jp/file/news/news...](https://www.osaka-sandai.ac.jp/file/news/news...)

#大阪産業大学 #大産大 #osu

その場 本学の授業の運用に関するご連絡（「レベル3」の継続）

学生のみなさんへ

大阪府においては、緊急事態措置に基づく要請が延長されることになりました。
本学においては、大阪府や近畿府県（兵庫県、京都府、滋賀県）で発令されている緊急事態宣言が解除されるまでは「レベル3」を継続する予定です。
（現時点では、9月30日（木）までの予定となります。）

後期の授業は、9月21日（火）より開始します。
レベル毎の授業の対応については、次のとおりです。

https://www.osaka-sandai.ac.jp/file/news/news/COVID19_0312.pdf

「レベル3」の状態の後期の授業日に入った場合、
第1回目の授業の受け方は、原則として次のようなかたちになります。

「授業タイプX」および「授業タイプY」
↳すべての学生において、原則として「同時双方向オンライン受講」をしてください。
（3グループに分かれての対面受講のかたちではありません。）
なお、各曜日の1回目と2回目については、レベルの制限に関係なく、グループ別の出席日は設けられておりません。
↳ただし、次のような方は、教室で対面受講が可能です。
「オンラインでの受講に困難を感じている」
「パソコンやネットワークの問題等で自宅でのオンライン受講ができない」
「その他、来学の必要があって大学に来ている」

「授業タイプZ」
↳すべてのグループにおいて、原則として「対面受講」ですが、
詳細については、各授業担当の先生の指示に従ってください。

※なお「授業タイプX」「授業タイプY」に関する補足ですが、
各曜日の3回目以降の授業の時点で、「レベル3」の制限が緩和されている場合、
3グループ（A、B、Cグループ）別の「対面受講日」は下のURLのとおりになります。
あらかじめ確認しておいてください。

https://www.osaka-sandai.ac.jp/news/wp-content/uploads/sites/7/2021/03/knk_calendar.pdf

その他、各授業に関する詳細については、WebClass等で案内される先生からの指示に従ってください。

なお、大学でのワクチン接種（職域接種）については、予定通り実施されます。

引き続き、健康管理にはくれぐれもご留意ください。

2021/09/09 00:00 ~ 2021/09/30 23:59
大阪産業大学

図 10 大学からの情報発信しているアカウントによるレベル3への変更を伝えるツイート

【授業運用に関する「レベル2a」への変更について】

10月12日（火）より「レベル2a」へと移行されます。

授業タイプXの対面受講のグループは対面受講が『原則』となりますのでお気をつけください。

詳細はリプライからご確認ください。

#大阪産業大学 #大産大 #osu

重症病床利用率、一般病床利用率が減少傾向にあることを踏まえ、

本学の授業については、

「Bグループ」が対面受講として指定されている

「4回目」の授業回（10月12日（火）が初日）より、

「レベル2a」（下のURLを参照）へと変更します。

https://www.osaka-sandai.ac.jp/file/news/news/COVID19_0312.pdf

「レベル2b」と「レベル2a」の授業の受け方の違いは、下の1点のみです。

「レベル2b」・・・「授業タイプX」において「対面受講」のグループは、対面受講を『推奨』とする。

「レベル2a」・・・「授業タイプX」において「対面受講」のグループは、対面受講を『原則』とする。

つまり、「レベル2a」のもとでは、

「授業タイプX」において、「対面受講」のグループは、同時双方向オンラインでの受講で

はなく、

原則として、対面での受講を行うようにしてください。

あらためて、授業タイプ別の大まかな運用のあり方を整理すると次のとおりです。

「授業タイプX」（全受講者がおよそ150名以下の講義科目）

- 3グループ別の「対面受講日」が設けられています。

「対面受講日」のグループ（3グループのうちの1グループ）に対しては、

「対面受講」を『原則』とします。

*ただし、状況などに応じて、授業担当の先生の指示に従ってください。

それ以外のグループは「同時双方向オンライン受講」を基本としますが、

来学が必要な学生は、グループに関係なく「対面受講」も可能とします。

「授業タイプY」（全受講者がおよそ150名を超える講義科目）

- 「対面受講日」のグループ（3グループのうちの1グループ）は、

「対面受講」あるいは「同時双方向オンライン」を選択可能とします。

それ以外のグループは「同時双方向オンライン受講」を基本としますが、

来学が必要な学生は、グループに関係なく「対面受講」も可能とします。

「授業タイプZ」（実験・実習・演習・実技科目等、

その他学科が指定する講義科目や少人数履修の講義科目）

- すべてのグループにおいて、原則として「対面受講」ですが、

詳細については、各授業担当の先生に御確認ください。

「授業タイプX」（あるいは「授業タイプY」）に関わる

3グループ（A、B、Cグループ）別の「対面受講日」は下のURLのとおりです。

https://www.osaka-sandai.ac.jp/news/wp-content/uploads/sites/7/2021/03/kmk_calendar.pdf

今回の「レベル2a」への変更は、

日付上は「10月12日（火）」より開始としますが、

正確に言えば「4回目」の授業回からの開始となります。

*つまり「Bグループ」の対面受講回より適用されます。

*10月14日（木）は、「（後期）3回目」で「Aグループ」の対面受講回のため

「レベル2b」での授業となります。

詳細は、上のURLより、各日の「対面受講日」となるグループを必ず御確認ください。

【来学時の注意】

*発熱等の症状がある場合は、登校を控えてください。

*来学の際は、大学内の検温所を必ず通ってください。

図 11 大学からの情報発信しているアカウントによるレベル2a への変更を伝えるツイート

7 まとめ

本研究では、Twitter を利用し学生の学習意欲、授業に対する満足度や大学側の判断は正しく伝わっているか調査を行った。授業への満足度は、前期だと学生がオンライン授業に慣れていなく、参加できない、受け方がわからない、他の学生のマイクがミュートになっていないなどオンライン授業ならではの、トラブルが前期の序盤に多い傾向だった。それ以降は、課題が多いや、授業への不満が多くなっていた。後期ではハイブリッド授業になったため、対面授業が始まったがオンライン授業に慣れたため、対面授業を嫌がる学生いた。オンライン授業と対面授業でやるかをグループ分けされている授業では、理解できていない学生が多い傾向だった。大学側の判断では、授業形態のレベルの変更時があまり学生には伝わっていない印象だった。

8 謝辞

本研究を進めていく上で、担当教員の大垣 斉教授からご指導及びご協力を頂きました。また、ご協力頂いた情報教育システム研究室所属の学生および卒業生の方々に深く感謝いたします。

参考文献

- [1] 文部科学省：「新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の学生生活に関する調査の結果」
https://www.mext.go.jp/content/20210526-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf
- [2] 大阪産業大学 後期授業期間の授業形態に関する方針について <https://www.osaka-sandai.ac.jp/news/27151.html>
- [3] オンライン授業に関する調査結果（2020年度春学期） <https://www.waseda.jp/top/news/70555>
- [4] デジタル・ナレッジ オンライン授業とは <https://www.digital-knowledge.co.jp/online-lesson/>
- [5] 初心者必見！ Twitter（ツイッター）の始め方と使い方をわかりやすく解説
<https://irumis.com/2020/05/25/how-to-get-started/#Twitter>
- [6] 【2022】SNSの年代別、利用数・利用率や目的を徹底比較！ <https://grove.tokyo/media/g0113/>
- [7] Twitter ヘルプセンター リストについて <https://help.twitter.com/ja/using-twitter/twitter-lists>
- [8] appllio Twitterの「リスト」とは？ <https://appllio.com/twitter-how-to-use-list>
- [9] 2021年度 大阪産業大学「現在の授業の運用状況」早見表 https://www.osaka-sandai.ac.jp/file/news/news/COVID19_0312.pdf